

山行報告書

報告書作成

2008年12月31日

山名 [山域]	大日ヶ岳(1709m)[奥美濃]	目的と方法	雪上訓練
登山期間	2008年12月13日(土)～12月14日(日)	山行形態	1泊2日(テント泊)
参加人数	6人(1P)		

行動記録

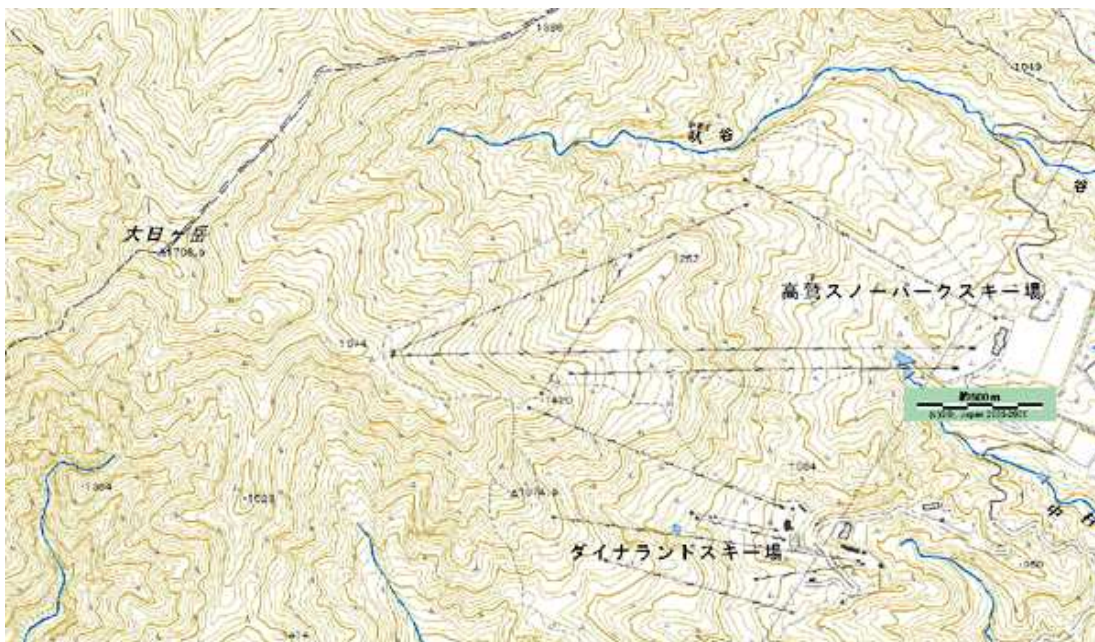
12月13日(土)

河合池運動公園(5:30) = 長良川SA(6:25) = 高鷲IC(7:30) = 高鷲スノーパーク(7:45) = ゴンドラ下車(8:35) = 大日ヶ岳山頂(11:15) = 【雪上訓練】(12:30, 15:30)

12月14日(日)

【雪上訓練】(7:30～8:30) = 大日ヶ岳山頂(9:00) = ゴンドラ乗り場休憩(10:00, 10:30) = ゴンドラ乗車(10:30) = 湯の平温泉(11:30, 12:45) = 高鷲IC(12:55) = 美濃加茂SA(13:40) = 河合池運動公園(15:00)

概念図



日誌

まだスキー客もまばらな高速を順調に走って高鷲スノーパークに到着。雪は少ないもののここでは人出が多く、彼らに混じってゴンドラに乗車。下車後すぐワカンを履いて斜面を登り始める。晴天に恵まれ、気持ちよく新雪を踏みながら山頂に到着。テント設営、昼食後は一日目の雪上訓練。斜面を使っての滑落停止、スタンディングアックスビレイ、耐風姿勢、ピーコンによる探索などを学ぶ。夜は1Pの6人用テントに次々人が集まり11人で宴会が続いた。翌日は5時に起床。雪上訓練二日目。昨日と反対側の斜面を使って、アイゼン装着による登下降やトラバース、方向転換の仕方、弱層テスト、埋没体験とプロープによる捜索などを時間一杯まで教えて頂く。天候は曇って寒々としていたが、ゴンドラ乗り場に下りたところには日差しが暖かった。湯の平温泉でぬるめの露天風呂を楽しみ、まだ明るい午後3時に河合池運動公園に帰着した。

感想

雪の山頂でのテント泊、普段使い慣れていないピッケルやアイゼンの使い方などなど。特に埋没体験は貴重なものになりました。いくら本を読んで知識のあるつもりでも、実際に経験してみないとわからないことばかりで考えさせられます。また今回は天候等の条件がよかったこともあり、大変な目に会うこともありませんでした。これからも謙虚に経験を重ねて、徐々にレベルアップを図って行きたいと思います。